

		令和5年度行政事業レビューシート			(文部科学省)		
事業名	オープンアクセス加速化事業			担当部局庁	研究振興局	作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	令和5年度	担当課室	参事官(情報担当)付	学術基盤整備室長 藤澤 亘	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	統合イノベーション戦略2023		
政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化			主要経費	科学技術振興費		
施策	8-3 オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進						
政策体系・評価書URL							
事業の目的(5行程度以内)	各大学の研究データポリシーに基づく即時OA化に向けた体制整備・システム改革を促進することにより、収録論文数・研究データの拡大及び研究成果へのアクセスの拡大を図る。また、質の高い論文及び研究データの収録数が大幅に増加され、OA化を加速することにより、OA率の上昇及び優れた研究成果の産業界での活用の促進、国際競争力の強化を図る。						
現状・課題(5行程度以内)	G7科学技術大臣コミュニケ(2023年5月)において、公的資金による学術出版物及び科学データへの即時オープンアクセス(OA)を支援する旨明記。これを受け、2025年度新規公募分からの学術論文等の即時OAの実現に向けた国の方針を策定予定。この方針に基づき、大学による研究成果(学術論文・研究データ)の管理・公開に関する体制の充実・強化を図る必要があるところ、我が国の大学の研究成果を公開するためのシステム(機関リポジトリ)、制度等が不十分である。こうした現状を踏まえ、大学による研究成果の管理・公開に関する体制の充実・強化を図り、もって大学のシステム改革を促進することを旨とする。こうした取組を実施することにより、産業界等にも開かれた知へのアクセスを担保することで、研究成果の発信力を強化し、我が国の競争力を高める。						
事業概要(5行程度以内)	公的資金による学術論文及び研究データの即時OA化を担保する体制を整備するため、研究データポリシーに基づく事業計画等を策定している大学を対象として、大学による研究成果(学術論文・研究データ)の管理・公開に関する体制の充実・強化に必要な経費を補助。						
事業概要URL							
実施方法	補助						
補助率等	補助対象:全国の国公立大学 補助率:100%						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	10,045	-
		令和5年度第1次補正予算	-	-	-	10,045	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	10,045	-
		執行額(G)	-	-	-	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-
		令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)	
(項)	—						
(目)	—						
計(A)	-	-	-				

活動内容① (アクティビティ)	オープンアクセスを加速化するため、大学の研究成果(学術論文・研究データ)の管理・公開に関する体制の充実・強化のための体制整備・システム改革を促進するもの。								
↓									
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	オープンアクセス加速化に取り組む大学の裾野拡大	補助対象機関数	活動実績	機関	-	-	-	-	-
			当初見込み	機関	-	-	-	80	-
↓	成果目標①-1の設定理由 (アウトプットからのつながり) 本事業によってオープンアクセスに係る方針を策定する大学が増える見込みのため。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	/	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6年度	
	オープンアクセスに係る方針の策定数	オープンアクセスに係る方針の策定数 ※目標値は補助対象予定機関数を記載	成果実績	数	-	-	-	-	
			目標値	数	-	-	-	80	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	文部科学省による調査								
アウトカム設定についての説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	-								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
	本事業は補正予算を踏まえた対応であり、各大学において即時オープンアクセスに向けた体制を速やかに整備することを目的としていることから、短期、中期、長期ごとのアウトカムの設定をしていない。								

文部科学省

A:公募【補助金交付】

独立行政法人等

B:公募【補助金交付】

各大学

(注)審査・交付等の方法については検討中

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック